

今どきの、婚活を知ろう！



真室川町では、減り続ける人口をなんとかしなければいけないことから、平成21年度より結婚対策として、婚活事業に取り組んでいます。
今年度の最初のイベント「婚活セミナー」を開催しました。その模様をお届けします。

トミー伊藤先生の講演から「知って得する婚活セミナー」が始まりました。先生からは、最近の結婚事情が説明されました。なぜ、今結婚が難しいのか。3つの年代でみると

①昭和20年まで
結婚には自由がなかった。決められた相手と結婚しなければならなかった。↓だれでも結婚できた。

②昭和50年まで
お見合いや、青年団活動が盛んであった。職場にはたくさんのお若者がいた。↓出会いの機会が多く、強制的な後押しがあったため、結婚しやすい環境があった。

③昭和50年以降
お見合いや青年団活動の崩壊、職場同士の結婚が極めて少ない。↓自由に結婚できるが、恋愛結婚を出来る人は全体の2割程度しかない。

という状況になっています。だから、就職する時に就職活動が必要のように、結婚するためには、結婚活動が必要になってくるのです。「結婚活動とは何をすることなのか」教えていただいた具体的なポイント

イントは次頁のとおりです。講演の後には、参加者と結婚支援員による交流会が開かれ、お互いの悩みなどが共有されました。

セミナーを終えた後、参加者の方からは、「話を聞いてよかった。また聞きたいのでぜひ機会を設けてほしい。」「気持ち引き締まった。」「大変参考になることがあった。今後、セミナーや婚活パーティーに参加して勉強していきたい。」との声が寄せられました。

先生からは、最後に「結婚することで、多くの経験が出来るし、相手の方と繋がる新しい関係もできる。より多くの経験をすることが豊かな人生になるので、今後がんばってほしい。」との叱咤激励をいただきました。

独身者の皆さん、独身者に関係する皆さん、先生が伝えてくれたポイントを参考にして、結婚に向けた行動をしてみましよう。きっと、素敵な出会いがある、幸せを掴むことができると思います。『動く』ことが大切です。

町のこれからの事業

- 親の婚活パーティー「親もコンカツ!!今どきの、婚活をしてみよう！」
日時・会場：8月4日(日) 午後3時～午後5時 新庄グランドホテル
対象・定員：25歳～45歳の独身男女(各10名) の親御さん
参加費：1人 1,000円(ご両親での参加も可能です。)
親から子への応援です。親の理解があつての相手だから、結婚へのハードルは低くなります。
- ワークショップ(婚活の実践を学ぶ場)
独身者を対象に、異性との会話の持ち方、ファッション等のテーマを定めて勉強する場です。詳しくは、8月下旬頃にお知らせします。乞うご期待。

男性編

婚活のポイント

1 自分を変える

- ①清潔感のある外見に変える
服は、自分と同世代の女性店員から選んでもらう。爪はきれいに。爪が汚れていると、汚いから触られたくないと考えてしまうようである。
- ②結婚に対する考え方を考える
相手に求めるものを変える
自分と釣り合う人を探す。自分のレベルは客観的(友人や職場の人の意見)に判断する必要がある。年齢に関して言えば、男性は、いくつになっても若い女性を求める傾向があるので、相手にされない状況を自ら作り出していることに気付くべきである。
- ③男女の違いを知る
女性を精神的に気持ち良くさせる会話を
男性と女性は脳の構造が違いため、考え方や受け止め方が違ってくる。会話にしても、男性は、結論を求め、女性は、やりとりを楽しむ。会話の中に「分かる」「そうだよ」「俺もそう思う」の魔法の言葉を時々いれて、女性に対して共感をもっていることを示すようにする。
- ④レディーファーストをする
女性は、優しい人が好きだから態度で示す。ドアを開けてあげる。高い物を取ってあげる。重い物を持ってあげる。など、女性の手伝いをすることで優しい人と印象づける。

2 活動する

- ①世間に向って、婚活中であることを宣言する
いつまでに結婚するのかを決めることが大事。
- ②できるだけ多くの人に紹介を頼む
しつこく3回以上頼む。(結婚相手との出会いのきっかけNo.1は、友人の紹介)
- ③女性がいそうな所にもぐりこむ
目当ての女性がいなくても、そこにいる女性と親しくなつて、紹介してもらうようにする。
- ④婚活パーティーに参加する
場数を踏んで女性に慣れる。
- ⑤職場の女性を褒めて、反応を見て練習する
自分より年上の女性も含めて練習するのがよい。褒めるのが苦手な場合は、「皆にかわいいって言われるでしょ。」と他の人の意見のように言ってみる。



トミー伊藤先生

★先生の紹介★
大江町商工会副会長。2009年に大江町商工会の男性婚活支援事業として男性の婚活練習場「ハローマリッジ倶楽部」を立ち上げ、毎月の例会で指導にあたる。
また、婚活アドバイザーとして県内各地でセミナーの講師を務めており、婚活で奥さまを射止められた自身の経験や人の行動を観察することで得た知識は実践で活かせるものばかりで、婚活のスペシャリストといわれている。
著書には、「モテる男は爪を磨く」「積極女子が幸せをつかむ」がある。

町の結婚支援員さんからのアドバイス

自分のライフプランを一度、考えてみましょう。子どもを育てていくことを考えて、子どもから手が離れた時にどんな自分になりたいのかを想像して、左記の表に自分の計画を当てはめてみましょう。

現在の定年年数を表示しています。 定年の前後には、子供にかかる費用がなくなるようにしておきたいものです。	25歳頃が、人格に対する試行錯誤の時期。パートナーと生活するのであれば、相手の考えに賛同できる30歳ぐらいまでが理想的といわれています。	子どもが生まれるまでは、通常10カ月必要です。	交際をスタートさせてから結婚までは、相手を知るための重要な期間(半年から1年程度)は確保しておきたいものです。	才	才	才	才	年齢
60才	才	才	才	才	才	才	才	年齢
定年	誕生	子どもの	結婚	交際スタート	現在	才	才	ライフポイント

●お問い合わせ先…企画課企画調整担当 ☎6 2 - 2 1 1 1 (内線222・223)

結婚支援員、

まだまだ募集中!!

●詳しくは、企画課 企画調整担当まで